



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月13日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	3,582	7.5	85	53.8	97	48.2	68	39.0
29年2月期第1四半期	3,872	7.0	185	234.8	188	127.0	112	220.3

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 71百万円 (43.6%) 29年2月期第1四半期 126百万円 (393.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	25.71	
29年2月期第1四半期	42.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	5,744	1,525	26.1	562.85
29年2月期	5,697	1,452	25.0	535.91

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 1,497百万円 29年2月期 1,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,328	4.9	224	15.6	260	4.2	181	11.7	68.24
通期	14,390	3.5	367	22.4	439	21.9	281	40.9	105.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 6 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	2,660,900 株	29年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	145 株	29年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	2,660,755 株	29年2月期1Q	2,660,788 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善等を背景とした緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の政策方針による影響などから、依然として先行き不透明な状態が続いております。国内の個人消費については足元で持ち直しの動きがあるものの、外食に対する低価格指向は根強く継続しています。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材確保の競争激化に加え、消費者の節約志向の影響から、業界内の環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、既存店の販売強化、店舗管理体制の見直し、全社的なコストの見直しを推進してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、XEXグループのウェディング売上の減少に加えて、カジュアルレストラングループにおいて来客数の減少等により既存店の売上が低調に推移した影響から、売上高は3,582百万円（前年同期比7.5%減少）、営業利益は85百万円（同53.8%減少）、経常利益は97百万円（同48.2%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（同39.0%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、継続的な販売強化の推進により既存店の売上は堅調に推移したものの、プライダル営業体制を移行した効果が想定より伸びなかったことから、レストランウェディングの件数および売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,137百万円（前年同期比4.0%減少）、営業利益は82百万円（同19.4%減少）となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、当第1四半期連結累計期間に国内において新たな出店はなく、既存店のサービスと料理の品質向上に注力してまいりました。直営店では、平成29年4月に「PIZZA SALVATORE CUOMO & BAR 静岡」を閉店いたしました。FC店では、平成29年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 熊本」を直営店舗化し、また同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 三ノ宮」を閉店いたしました。同年5月には韓国釜山広域市に、FC店として「PIZZA SALVATORE CUOMO ロッテ百貨店釜山本店」を出店いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,443百万円（前年同期比9.1%減少）、営業利益は282百万円（同17.6%減少）となりました。なお、店舗数は直営店43店舗、FC店47店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1百万円（前年同期比12.5%増加）、営業損失は2百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は2,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加37百万円、売掛金の増加41百万円、原材料及び貯蔵品の減少2百万円、繰延税金資産の減少24百万円等によるものです。固定資産合計は2,963百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少31百万円、建設仮勘定の増加17百万円、のれんの減少10百万円、敷金及び保証金の増加12百万円、長期繰延税金資産の増加28百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は2,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは主として、買掛金の増加46百万円、短期借入金の増加18百万円、未払金の増加9百万円、未払法人税等の減少94百万円、株主優待引当金の減少18百万円等によるものです。固定負債合計は1,825百万円となり、前連結会計年度末と同水準となりました。これは主として、長期借入金の増加28百万円、長期前受収益の減少18百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上68百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は26.1%（前連結会計年度末は25.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年4月17日の「平成29年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,528	1,655,318
売掛金	621,575	663,557
原材料及び貯蔵品	217,725	214,895
繰延税金資産	111,375	86,696
その他	186,805	160,772
貸倒引当金	△512	△522
流動資産合計	2,754,497	2,780,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,732,926	1,701,264
工具、器具及び備品（純額）	212,402	203,274
リース資産（純額）	59,102	54,460
建設仮勘定	2,944	19,994
その他（純額）	5,789	26,044
有形固定資産合計	2,013,166	2,005,038
無形固定資産		
のれん	139,189	128,482
その他	39,167	36,789
無形固定資産合計	178,356	165,272
投資その他の資産		
投資有価証券	422	369
長期貸付金	8,262	9,498
敷金及び保証金	600,637	613,171
繰延税金資産	144,687	172,966
その他	15,280	14,851
貸倒引当金	△17,818	△17,702
投資その他の資産合計	751,472	793,154
固定資産合計	2,942,995	2,963,465
資産合計	5,697,493	5,744,182
負債の部		
流動負債		
買掛金	668,785	714,929
短期借入金	548,268	566,984
未払金	637,604	647,204
未払法人税等	131,440	37,328
ポイント引当金	24,355	23,539
株主優待引当金	57,825	39,663
その他	351,725	363,315
流動負債合計	2,420,004	2,392,965
固定負債		
長期借入金	1,058,218	1,087,036
資産除去債務	474,853	474,131
長期前受収益	129,150	110,700
その他	162,553	153,454
固定負債合計	1,824,775	1,825,322
負債合計	4,244,780	4,218,288

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△160,392	△91,975
自己株式	△362	△362
株主資本合計	1,568,303	1,636,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	61
為替換算調整勘定	△142,479	△139,170
その他の包括利益累計額合計	△142,384	△139,109
新株予約権	21,757	23,425
非支配株主持分	5,035	4,857
純資産合計	1,452,712	1,525,893
負債純資産合計	5,697,493	5,744,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,872,453	3,582,260
売上原価	3,106,283	2,885,298
売上総利益	766,170	696,962
販売費及び一般管理費	580,508	611,163
営業利益	185,662	85,799
営業外収益		
受取利息	46	46
協賛金収入	13,186	18,750
その他	6,595	3,782
営業外収益合計	19,828	22,578
営業外費用		
支払利息	6,649	5,427
為替差損	7,032	3,604
その他	3,590	1,764
営業外費用合計	17,272	10,796
経常利益	188,218	97,581
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,668
特別利益合計	—	2,668
税金等調整前四半期純利益	188,218	100,250
法人税、住民税及び事業税	76,258	35,497
法人税等調整額	△130	△3,580
法人税等合計	76,128	31,916
四半期純利益	112,090	68,333
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△83
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,090	68,416

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	112,090	68,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△33
為替換算調整勘定	14,656	3,213
その他の包括利益合計	14,668	3,179
四半期包括利益	126,758	71,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,758	71,691
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,184,364	2,686,334	3,870,698	1,755	3,872,453	—	3,872,453
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	90,173	90,173	△90,173	—
計	1,184,364	2,686,334	3,870,698	91,928	3,962,627	△90,173	3,872,453
セグメント利益 又は損失(△)	102,408	343,306	445,715	680	446,395	△260,732	185,662

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△260,732千円には、セグメント間取引消去額416千円、各セグメントに配分していない全社費用△261,149千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,137,249	2,443,036	3,580,285	1,974	3,582,260	—	3,582,260
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	79,996	79,996	△79,996	—
計	1,137,249	2,443,036	3,580,285	81,971	3,662,257	△79,996	3,582,260
セグメント利益 又は損失(△)	82,551	282,938	365,489	△2,354	363,135	△277,336	85,799

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△277,336千円には、セグメント間取引消去額416千円、各セグメントに配分していない全社費用△277,752千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。